

「パチスロといえればメルヘン」 スロ専として再デビュー



新設の6・25円コーナーでは、連れパチを楽しむユーザーの姿も



トランプをモチーフにしたパネルが印象的なジャグラー島。基本的に装飾はシンプル

高稼働を誇るジャグラーコーナー



パチスロは
400台から560台へ

宮城県を中心に、6県で16店舗を展開するカツヨシ商事が昨年11月21日、「メルヘンワールド羽生店 スロット」をリニューアルオープンした。

場所は、埼玉県の北東部、利根川をはさんで群馬県と隣接する羽生市。市内を縦断する国道122号線沿いに位置する。

同社がM&Aにより買収したパチンコ・パチスロ併設店を、2018年9月から約2年間にわたって営業。しかし、年末年始の繁忙期を見据え、昨年11月の3連休に合わせて、パチスロ専門店への転換を図った。

水野英隆マネージャーは、「もともとパチスロの方が稼働は良く、2年前も『スロ専にする方が、いいのでは』という意見がありました。パチンコを楽しむお客さまもいる中、いきなりゼロにするのも…と減台しつつ、パチンコを続けていましたが、やはり、パチスロの方が好調。専念すべきとの結論に達しました」と説明する。

パチンコからパチスロへの入れ替えに伴い、メダル補給機や洗浄機などを導入したものの、約2年前に屋号変更・リニューアルしたとあって、ホールの照明を、光量を落としたものにしたほか、大きな変更は行わなかった。

パチスロの設置台数は、400台から560台へ。これまで、低貸しは2



中央通路は幅4.8mで、天井高は6.85mとゆったりとした設計



キビキビとした動きが、見ていて快い女性スタッフ



メイン通路を彩るデジタルサイネージ



DATA

- 所在地
埼玉県羽生市
大字小須賀571-1
- リニューアルオープン日
2020年11月21日
- 経営
㈱カツヨシ商事
- 代表者
琴亮吉氏
- 店舗数
16店舗
- 総台数
560台

近隣3市を含めても 唯一のスロ専

スロ（40台）のみだったが、新たに6・25円スロを80台設置。「あくまで20円（1000円46枚食し）がメインですが、適度に遊技を楽しみたいユーザー向けに、設置を決めました。まだ目立つ動きはなく、様子見の段階ですが、平日昼間の稼働アップのため、今後は人気の新台も投入していく予定です」

稼働状況はというと、オープンから約2週間が経過した後も、リニューアル前と比較して、平日・休日ともに1〜2割増をキープ。朝の待機列にも30人ほど、並ぶ状況が続いている。

稼働を牽引しているのは、ジャグラーシリーズ（92台）や1BOXへと倍増した「ハナハナ30シリーズ」をはじめとする30φコーナー。

水野マネージャーは、「良いスタートが切れましたが、大型撤去が控えています。その穴を埋める機械を育てないと」と、気を引き締める。

バラエティーコーナーを強化し、多様な遊技機の動向を注視しながら、準主力となる遊技機を育てている過程だとか。

「羽生市はもちろん、隣の行田市や加須市、熊谷市を含めてもスロ専が存在しないエリア。専門店として、『パチスロといえばメルヘン』と、思ってもらえるように頑張りたい」と語った。